
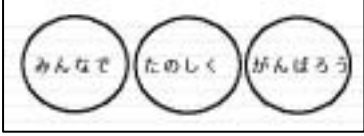


学校名	取組み事例
広島中央特別支援学校	<p>「校内弁論大会の実施」(中学部・高等部) 校内弁論大会を毎年行っている。 生徒が日頃感じていることや思っていることをまとめ、多くの人の前で発表することを通して、表現力の向上を図っている。 具体的には、一人7分の持ち時間で弁論を行い、優秀者を表彰するとともに、最優秀者は中国・四国地区盲学校弁論大会へ本校代表として出場している。 今年度の中国・四国地区盲学校弁論大会は、6月20日に本校を会場として行った。</p> <p>「『ことばの輝き』優秀作品コンクール応募への取組み」(全学部) 県教育委員会が毎年行っている「ことばの輝き」優秀作品コンクールに全校で作品を応募している。 「書くこと」を通して、深く考える力と自分の気持ちを伝える力の向上を図っている。</p> <p>「お話会の実施」(小学部) 1学期末に国語や自立活動による学習成果を発表するお話会を行っている。 毎年児童会行事として、運営・司会進行を5・6年生の児童が行い、児童全員が作文、歌、リズムの発表をしている。 お話会を通して、児童の表現力の向上を図っている。</p> <p>「発表会の実施」(中学部) 生徒が自分の特技や趣味、日頃思っていることを演じたり、作文に書いたりして発表する会を毎年行っている。 発表会を通して、生徒がお互いの気持ちを大切にすることができるようしている。</p>
広島南特別支援学校	<p>「1分間スピーチの実施」(全学部) 自分の気持ちを表現する力を向上させるため、各クラスでの朝の会、帰りの会等の時間を利用して、児童生徒がテーマに沿った1分間のスピーチを行っている。 加えて、高等部では、毎週月曜日の生徒朝会において、生徒が新聞記事等について自分の感想や意見を作文にまとめて、発表する機会を設けている。</p> <p>「読書感想文発表会の実施」(高等部) 各学期に一度、読書週間を設け、それぞれの生徒に適した図書を選び読書指導を行い、その後の国語の授業等で読書感想文の指導を行っている。そして、生徒全員が発表する読書感想文発表会を行い、生徒同士や教師との意見や感想の交換を行っている。</p>

尾道特別支援学校	<p>「ボランティアを活用した読み聞かせ」(小学部)</p> <p>隔月で地域の読み聞かせボランティアによる手話での絵本の読み聞かせを行っている。児童の絵本に対する興味が高まり、本を自ら読もうとする態度が育っている。</p>
西条特別支援学校	<p>「移動図書館の利用」(全学部)</p> <p>毎月1回、地域の図書館から「としょまる」という移動図書館に来校していただき、約3000冊の本の中から児童生徒が借りたい本を選び、1ヶ月間、授業時間等を利用して、読書に親しんでいる。</p> <p>また、各授業で、調べ学習等で図書が必要な場合は、あらかじめ「リクエスト」として依頼をし、持ってきていただいている。児童生徒には定着しており、小学部の児童も大変楽しみにしている。</p> <p>「自分のことを紹介する絵本づくりの授業の実施」(小学部)</p> <p>国語科において、自分の氏名・性格・好きなことなどを絵と文章で紹介する絵本を作成し、他の児童に発表する授業を行った。</p> <p>個性豊かなオリジナルの絵本が出来上がり、発表の場面では他の児童の発表をよく聞き、自分の言葉で質問するようになった。絵本作りを通して、自分のことを言葉で表現することができるようになってきている。</p>
広島西特別支援学校	<p>「双方向通信並びに同時中継設備を活用したコミュニケーション活動」(全学部)</p> <p>病弱教育を行う特別支援学校であることから、児童生徒の約半数が毎日病棟で学習しており、ほとんどの学習を教師と一対一の形で進めている。</p> <p>このような学習環境に広がりを持たせるために、病棟と学校とを結んで、学習を同時展開できる双方向通信システムを取り入れた。特に、病棟で学習している児童生徒には、普段会う機会の少ない友だちや先生と、TVやPCのモニター画面を通じて言葉を交わし学習することは、大きな楽しみとなっている。</p> <p>また、病棟から学校に登校する児童生徒にとっても、教室の友だちと病棟の友だちとの両方に注意を向けて意見を述べる機会になり、相手の表情や身振り、一つ一つの言葉に注意を払いながらコミュニケーションを深めていくことができるようになってきている。</p>
廿日市特別支援学校	<p>「『おはなし会』の実施」(小学部)</p> <p>地域の人形劇サークルによる「おはなし会」を定期的に行っている。</p> <p>「絵本を活用した授業の実施」(小学部、中学部)</p> <p>小学部では、絵本を教材とした授業で、絵本の内容を理解しやすいように、内容に関連した活動を組んだり、劇遊びを取り入れた活動を工夫している。</p> <p>中学部でも、授業の中に絵本の読み聞かせを取り入れている。個別の生徒の実態に応じて行っている。</p>

	<p>「発表会の実施」(高等部)</p> <p>紙芝居をもとに、生徒がつくった物語や、「就業体験」等のまとめの学習で書いた感想文の発表会を行っている。</p> <p>生徒が言葉をはっきり発音したり、気持ちをこめて読んだりする等、相手に伝えるための工夫を考えて発表することを通して、自分の考えや思いを表現する力をつけている。</p>
<p>呉特別支援学校</p>	<p>「音声によるコミュニケーション力向上の指導」(中学部)</p> <p>毎日の朝の会や帰りの会で、挨拶や前日又は当日の出来事を発表する機会を設けている。同じ展開で繰り返される活動であり、生徒にとっては自分の体験や考えを発表できる楽しい活動となっている。</p> <p>音声によるコミュニケーション力を高めるため、生徒の実態に応じて、絵カード、身振りや音声等を組み合わせ、挨拶や要求表現等の指導を行っている。</p> <p>さらに、発表の手掛かりとして、文節ごとに区切った文字カードを示している。</p> <p>また、単語一つによる発言から文による発言を促すために、次の発語を促す手掛かりを示すようにしている(例えば「エプロンをつけて」までを指導者が言い、述語を生徒が言うのを待つなど)。</p> <p>このような指導を、毎日継続することで、音声によるコミュニケーション力が少しずつ向上している。また、コミュニケーション力の向上とともに、カード等の手掛かりを徐々に少なくしている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>絵カード</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>文節に分けたカード</p> </div> </div> <p>「視聴覚教材を活用した読み聞かせ」(中学部)</p> <p>自立活動において、「てれび絵本」というビデオを活用して読み聞かせを行っている。教室に置いている見慣れた絵本の場面が、テレビの中で実際に動きながら語りかけてくることから、生徒は興味をもって見ることができている。この読み聞かせを、読書活動や生活単元学習における劇づくりへ発展させている。</p>